

ニューロダイバーシティとは何か

～発達障がいが人類社会に“不可欠”である理由～

講師

正高 信男先生

2019年7月6日（土）

13:00～14:30

関西大学 千里山キャンパス

尚文館1階 マルチメディアAV大教室

この度、関西大学心理臨床センターの事業の一環として、上記テーマのもと、講師に正高信男先生（京都大学霊長類研究所 教授）をお招きして、講演会を開催いたします。

正高先生は、ヒトを含めた霊長類のコミュニケーションに関する研究の第一人者であり、一昨年、アメリカのノンフィクション作家スティーブ・シルバーマンの話題の書「自閉症の世界 多様性に満ちた内面の真実」の翻訳をされました。本書は、自閉症と呼ばれる人々に、ニューロダイバーシティ（脳多様性）というかつてない視点から光をあてた画期的な一冊です。

自閉症スペクトラムや発達障がいと診断される人々が後を絶たない昨今、これらの事象は本当に「障害」なのか、そもそも発達障がいとは何か、疑問に思われている方々も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、講師の正高先生より、人類の進化や歴史という大きな流れの中でとらえた『発達障がい』についてお話しいただき、発達障がいの存在意義について臨床心理学的知見を深め、一般の方々と心理臨床センターがともに考える場にしたいと思います。

* 講師紹介 *

1954年大阪府に生まれる。1978年大阪大学人間科学部卒業。1983年同大学院人間科学研究科博士課程修了。ヒトを含めた霊長類のコミュニケーションを研究テーマとし、アメリカ国立衛生研究所客員研究員やドイツ・マックスプランク精神医学研究所研究員を経て、現在に至る。著書に『ケータイを持ったサル』（中央公論新社 2003）、『ヒトはいかにしてことばを獲得したか』（共著大修館書店2011）など。また、翻訳に『自閉症の世界 多様性に満ちた内面の真実』（共訳 講談社2017）、絵本に『ぼうぼうまんぼうくん』（鈴木出版2004）など。

講演会後に、無料相談会を行います。講演会・無料相談会 ともに事前申込みは必要ありません。

関西大学心理臨床センター<http://www.kansai-u.ac.jp/psc/>千里山カウンセリングルーム [TEL] **06-6368-1015**

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

関西大学 千里山キャンパス 児島惟謙館3階